

みらいゼミ成果報告会

「クィア学生が安心して過ごせるセーフスペースを学内に作りたい！」



【ゼミ立ち上げの経緯】 #LGBTQIA+ #フェミニズム #反差別

昨今の、LGBTQIA+への差別はますます激化している。このような情勢の中で、クィアな大学関係者がよりセーフな学園生活を送れるように東京大学のKYOSSやKOSSのような物理的な空間としての、部屋としての「セーフスペース」を作ることを学内に設けることを目指して立ち上げた。

【活動実績】



2023年8月 結成

グラウンドルール作り

東京大学のサークル「UT-topos」や「TOPIA」でのセーフを目指す実践について学習
・「セーフ」ではなく「セーフな」なのか？
セーフな場作りのために、他愛のない話を参加者同士で交わす

・立命館で過ごしていて、どんなときに「セーフ」でないかを議論
セーフスペースを考える意義とは？

2023年9月2日,9月3日
国際ジェンダー学会2023年大会
@十文字学園女子大

2023年9月26日
吉野鞆さんを招いたゲストスピーカー講演
@衣笠キャンパス 敬学館KG003

ZINE作成開始

2023年10月4日ゼミ最終回（総括）

【国際ジェンダー学会2023年大会】

2023年9月2日~3日
@十文字学園女子大学(埼玉県新座市)
9月上旬には学会に参加。現実のクィア理論とセーフスペースを結びつける学びができました。他大学の学生との交流も実現。



【吉野鞆さんを招いたゲストスピーカー講演】

9/26には、現在は本学の生存学研究所にご所属の吉野鞆さんを招いた講演会を開催。立命館の歴史と全学構成員自治の組織形態、吉野さん入学当時の学生自治会の状況から、吉野さんが2002年に設立されたGSP(Gender Sexuality Project)での政策実現運動の過程、そして今日の運動などについて深めました。GSPは、全学構成員自治のシステムを効果的に活用し、オールジェンダートイレや学祭でのプライドパレード実施など、ラディカルな運動を展開。2002年頃と今日との間に、立命館はいかに変貌してしまったのかしてしまったのか、今日においても、学内で要求を実現するには学生自治会への働きかけが重要であること、そもそも社会運動では何が「残る」のか、等々、大きな学びになりました。



【総括】

当初の目標「物理的な部屋としてのセーフスペースを作る」の実現には至らなかった。しかし、「避難場所」を作ることで全てが解決するとも限らない。「セーフな」立命館を作るには、特定の空間のみではなく、大学全体が「セーフ」でなければならないということ、単体の「場」もそうだが、それに至るプロセスがセーフでなければならないこと、などを深めることができた。運営上、至らない点があまりに多かったが、次期ゼミにも繋げていきたい。